

早稲田大学 大学院法学研究科
2026 年度 修士課程入学試験問題（一般入試）
【専 修 科 目】

専攻名： 民事法学

専修名： 民 法

以下の問題から一つを選んで解答しなさい。なお、解答の冒頭にいずれの問題を選択したかを明示すること。

問題 1

定型約款に関する民法の規定について、その特徴を整理し、意義と問題点を明らかにしなさい。

問題 2

無過失の不法行為責任を認めたと理解される民法の条文として、どのようなものがあり、それらの条文において、なぜ無過失責任が認められるかについて論じなさい。

問題 3

親が死亡した場合において、その死亡まで療養看護に努めた子は、世話を一切見てこなかった他の子らに対して、自らが支弁した扶養料の償還を請求することができるか。また、相続において、そのような事情を考慮して相続分を調整することはできるか。それぞれの場面について、論じなさい。

答案の書き方（○横書き／縦書き） 六法全書の使用を（○認める／認めない）